

主婦連など組織初の消費者団体交流会開く

各活動を発表、問題点話し合う

7月3日午後1時30分から高槻市民交流センターにて消費者団体交流会（茨木市消費者協会、川西消費者の会、高槻市消費者団体連絡会、高槻方面友の会、エコロジアン・ドリーム、NPO法人日本主婦連合会）の6団体に参加して開催されました。

初めに高槻市消費生活センター所長の清水良造様より挨拶をいただき、ついで各団体の代表者より出席者（各団体4名）の紹介があり、そのあとレジュメに沿って各団体より活動報告がありました。



初の交流会で挨拶する清水良造所長と瀧上会長

会長より「月1回の環境ネットワークいばらき定例会、エコカフェ、府消連幹事会、市民講座学習会開催（各月のテーマに沿っての学習会等）」さまざまに参加行事について説明がありました。

今回兵庫県より加の川西消費者友の会木原会長より「総会、消費者月間記念講演会（買い物物で役立つ食品の見方）、健康と環境に配慮したくらしづくり、生活学習会等」について説明がありました。

高槻消費者団体連絡会西川事務局長より「毎月定例会、特殊詐欺街頭キャンペーン、消費者月間講座、2団体の学習会（ソースについて、地球温暖化を考えよう）、総会等」についての報告。高槻方面友の会小橋副会長より「係会、例会、講習会（洗濯について）勉強会等」の報告。エコロジアン・ドリーム奥田副会長より「高槻市消費者団体連絡会、大阪府地域消費者団体連絡会参加、総会、ガレージセール（春と秋）、消費月間講座、学習会（商業団体連合会）、市開催の緑化フェアにてお好み焼き等」についての報告。

当日日本主婦連合会からは池田副会長が「年間6回の新聞の発行、定例会、総会、講師を招いての学習会、青少年を守る母の会、健康省エネ住宅を推進する国民会議等」について発表しました。途中でエコロジアン・ドリームの会員さんのいれてくれた温いコーヒーで一息つき、各団体の問題点について話し合いました。

発信していく。知ってもらう為にバザーではなく日用品交換会をすることにするとか、「こんなことをしています、楽しんですよ」といろんな人に発信するとか、行政の力も借りて、学習会、講習会をする、これからは一つの団体だけでなく皆で協

力をするというのも大切だ、などの意見がありました。この様な他団体との交流ははじめてでしたがいろんな考え方や活動を知り、これからももっと勉強していく必要があると痛感しました。（池田、山口、北山、道崎）
（道崎千鶴子）

どこの団体も高齢化、会員の減少という同じ問題をかかえています、明確な解決方法がありません。自分達がいる活動を身近な人や社会に